

Kansai Economic Insight Monthly

2017/2/24

Vol.46 January/February

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第 4 週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet (各 APIR 研究員) 及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドと CI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	9
主要月次統計	12
Release Calendar	13

要旨

-景気は足下、先行きともに改善の方向にある*-

- ✓ 12月の鉱工業生産指数は2カ月連続のプラス。10-12月期は4期連続の増産。アジア向けの電子部品・デバイスの輸出が好調で、先行き関西の生産は堅調に推移する可能性が高い。
- ✓ 1月の輸出は3カ月ぶりの前年比減少、輸入は17カ月ぶりに同増加した。結果、貿易収支は12か月ぶりの悪化となった。
- ✓ 1月の消費者態度指数は2カ月連続で改善したものの、景気ウォッチャー現状判断DIは4カ月ぶりの悪化。トランプ新大統領の政策運営が与える影響への懸念から、先行き見通しは2カ月連続で悪化した。
- ✓ 10月の関西2府4県の現金給与総額は4カ月連続の下落。11月の「関西コア」賃金指数も5カ月連続で下落。賃金は緩やかな下落が続いている。
- ✓ 12月の大型小売店の販売額は5カ月連続の前年比マイナス。衣料品等の季節商品の不振が顕著であったため、百貨店、スーパーともに伸びはマイナスとなった。
- ✓ 12月の新設住宅着工戸数は2カ月連続の前年比プラス。利用関係別にみると、貸家は3カ月連続で増加したものの、分譲は2か月ぶりに減少した。
- ✓ 12月の有効求人倍率は4カ月連続の小幅上昇。新規求人倍率も2カ月連続で上昇し、企業の求人意欲は旺盛。完全失業率は2カ月連続で小幅悪化したものの、雇用情勢は依然好調が続く。
- ✓ 1月の公共工事請負金額は4カ月連続の前年比マイナス、季節調整値も2カ月ぶりのマイナスとなっており、補正予算の効果はこれからである。
- ✓ 1月の関空への訪日外客数は58万5,280人(単月過去最高)となり、48カ月連続の前年比プラスとなった。
- ✓ 中国1月の生産者物価指数(PPI)は資源価格の上昇や需給ギャップの改善もあり、前年比+6.9%と5カ月連続のプラス。伸びは前月から加速した。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦リサーチリーダー)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。
関西全体のCI, 試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

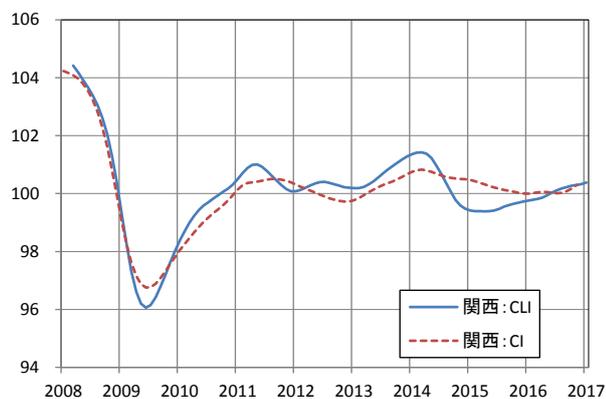
	2016年												2017年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
生産	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↗	
貿易	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↘	↗	↗	↗	↘
センチメント	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↗	↘
消費	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	
住宅	↗	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	
雇用	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	
公共工事	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↘
中国	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗

(*トレンドの判断基準)

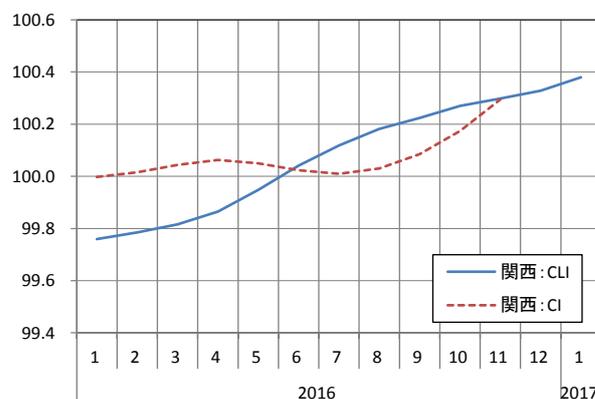
- ・ **生産**: 近畿経済産業局『近畿地域広工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **貿易**: 大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **センチメント**: 内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **消費**: 近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **住宅**: 国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **雇用**: 厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・ **公共工事**: 西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2008年1月～2017年1月まで)



直近1年間の推移(2016年1月～2017年1月まで)



【釧工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

12月近畿の釧工業生産指数(確報値:季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は108.8で、前月比+2.7%と2カ月連続の上昇。出荷は106.0で同-0.3%と2カ月ぶりの下落。在庫は113.1で同+1.8%と3カ月ぶりの上昇。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2010年=100)は107.8であり、同-1.3%と3カ月ぶりの下落。

業種別に生産指数をみると、電子部品・デバイス(前月比+6.2%、2カ月連続)、金属製品(同+9.1%、5カ月ぶり)、鉄鋼業(同+7.1%、3カ月ぶり)等が増産となった。一方、情報通信機械(同-19.3%、2カ月ぶり)、化学(除・医薬品)(同-2.9%、5カ月ぶり)、石油・石炭製品(同-8.7%、2カ月ぶり)等が減産となった。

10-12月期の生産は、前期比+3.1%となっており、4期連続の増産。生産は過去1年を通して緩やかに拡大してきたが、足下伸びは加速している。

生産の先行きについては、米国大統領選挙の結果から、対米輸出が減少し、生産に影響を及ぼすという見方があるが、これまで関西の生産を主導してきたのは電子部品・デバイスであり、これらはアジアへ多く輸出されている。よって、当面、関西の生産は堅調に推移する可能性が高い。

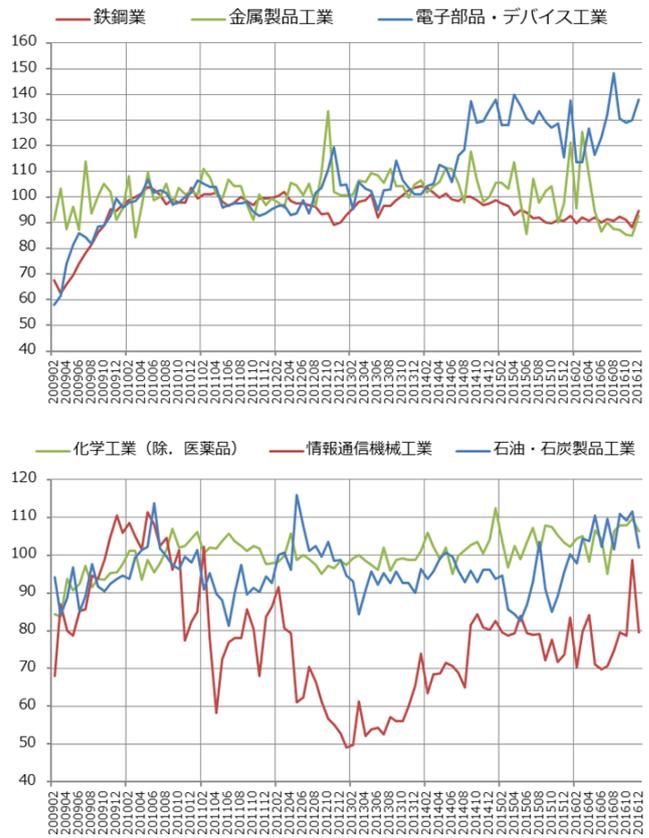
釧工業生産指数の推移(関西:2016年12月まで、2010年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西:2016年12月まで、2010年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

(2) 全国の生産動向

12月全国の釧工業指数(確報値:季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は100.6となり前月比+0.7%と2カ月連続の上昇。出荷は98.9で同-0.4%と4カ月ぶりの下落。在庫は107.5で同+0.6%と4カ月ぶりの上昇となった。

業種別にみると、輸送機械(前月比+2.4%、2カ月連続)、化学(同+1.9%、2カ月連続)、電気機械(同+2.1%、2カ月連続)を中心に増産となった。一方、情報通信機械(同-10.7%、2カ月ぶり)、食料品・たばこ(同-1.6%、2カ月連続)、はん用・生産用・業務用機械(同-0.2%、2カ月ぶり)等は減産となった。

製造工業生産予測調査によれば、1月は前月比+3.0%、

2月は同+0.8%と、いずれも増産となっている。トレンドを見ると、生産と出荷が増加しており、在庫は減少している。在庫調整は着実に進んでおり、今後の全国の生産は堅調で推移するだろう。

鉱工業指数の推移 (全国: 2016年12月まで、2010年=100)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西1月の貿易収支は-1,929億円と12カ月ぶりの赤字となり、貿易収支は前年同月比230.1%悪化した。全国の貿易収支(速報値)は-1兆869億円と5カ月ぶりの赤字となり、同+67.8%拡大した。

関西・全国の貿易収支の推移:(百万円, 2017年1月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

(2) 輸出

関西1月の輸出額(速報値)は1兆909億円。前年同月比-1.7%と3カ月ぶりの減少。財別に見れば、船舶、加熱用・冷却用機器が減少した。

全国1月の輸出額(速報値)は5兆4,219億円、前年同月比+1.3%と2カ月連続の増加。財別に見れば、鉱物性燃料、自動車の部分品、鉄鋼の輸出が増加した。

関西・全国の輸出の推移(百万円, 前年同月比, 2017年1月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

(3) 輸入

関西1月の輸入額(速報値)は1兆2,838億円、伸びは前年同月比+9.9%と17カ月ぶりの増加。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、石炭が増加した。

全国1月の輸入額(速報値)は6兆5,088億円、前年同月比+8.5%と25カ月ぶりの増加。財別に見れば、原油、石炭、衣類・付属品等の輸入が増加している。原油輸入額は前年同月比+40.5%と28カ月ぶりに上昇したことに注意。

関西・全国の輸入の推移(百万円, 前年同月比, 2017年1月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西1月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は-416億円と12カ月ぶりの赤字となり、貿易収支は前年同

月比 1815.7%悪化した。輸出は 3 カ月ぶりの小幅減少(同-0.1%)。財別に見れば、事務用機器、食料品等が減少した。一方、輸入は 17 カ月ぶりの増加(同+5.3%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、がん具及び遊戯用具等が減少。

うち、対中貿易収支は-2,179 億円と 2 カ月ぶりの赤字となった。前年同月から 16.7%悪化した。輸出は 3 カ月連続の増加(同+1.8%)。財別に見ると、半導体等製造装置、科学光学機器が増加した。輸入は 10 カ月ぶりの増加(同+8.1%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、がん具及び遊戯用具が増加した。

対米貿易収支は+516 億円と黒字基調が続いているものの、黒字幅は 7 カ月連続で前年から縮小(同-23.0%)。うち、輸出は 15 カ月連続のマイナス(同-0.5%)。財別に見れば、建設用・鉱山用機械、有機化合物が減少した。輸入は 2 カ月連続の増加(同+16.4%)。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油等が増加となった。

対 EU 貿易収支は-136 億円と 2 カ月ぶりの赤字となった。貿易収支は前年同月比 135 億円悪化した。輸出は 2 カ月連続の減少(同-2.0%)。財別に見れば、有機化合物、音響・映像機器部分品等が減少。輸入は 11 カ月ぶりの増加(同+9.0%)。財別に見れば、有機化合物、たばこ等が増加した。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

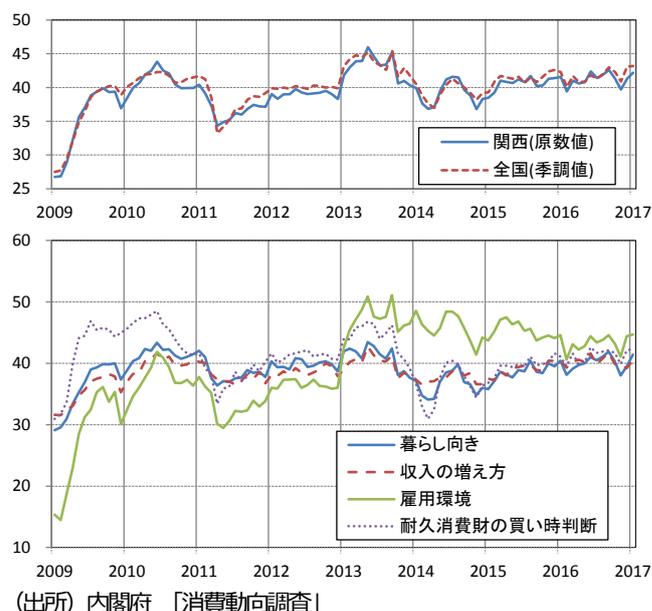
関西の 1 月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.9 ポイント上昇し 42.2 となり、2 カ月連続の改善。全国(季節調整値)は同+0.1 ポイント小幅上昇し 43.2 となり、こちらも 2 カ月連続の改善であった。

全国の同指数の構成項目を見ると、「雇用環境」が前月比で+0.5 ポイント上昇。一方、「暮らし向き」「耐久消費財の買い時判断」は同横ばい。「収入の増え方」は同-0.3 ポイント低下した。好調な雇用環境が続いていることが消費者心理の改善につながったとみられる。内閣府は消費者心理の基

調判断を「持ち直しの動きがみられる」として、4 カ月ぶりに上方修正を行った。

また、関西の同指数構成項目は、4 つの指標の全てが改善した。内訳を見ると、「暮らし向き」が前月比+1.9 ポイントと最も大きく、次いで「収入の増え方」が同+1.3 ポイント、「雇用環境」が同+0.3 ポイント、「耐久消費財の買い時判断」は同+0.2 ポイント上昇していた。

消費者態度指数(2017 年 1 月まで)



(2) 景気ウォッチャー指数の動向

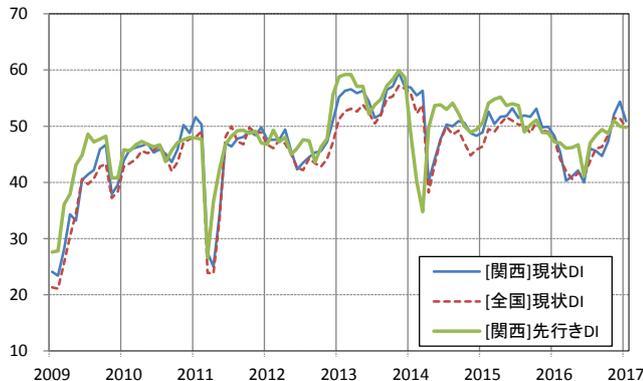
関西の 1 月の現状判断 DI(季節調整値)は 50.9 と景況感の良し悪しの分かれ目となる 50 を 3 カ月連続で上回ったものの、前月比-3.5 ポイント低下し、4 カ月ぶりの悪化。全国は 49.8 で同-1.6 ポイント低下し、7 カ月ぶりの悪化であった。

関西では、依然として消費者の節約傾向は続いているものの、冬物商材や百貨店での初売りが好調であったことが景況感にプラスに寄与した。また、今年は春節が 1 月であったこと、円安の影響などから、インバウンド関連も好調であった。

また、先行き判断 DI(季節調整値)は、関西では 49.8 と前月比-0.2 ポイント小幅低下し、2 カ月連続の悪化。トランプ新大統領の政策運営が世界経済や金融市場に与える不透明感を懸念するコメントが多く、先行き見通しの悪化に寄与し

た。全国も49.4と同-1.5ポイント低下し、こちらも2カ月連続の悪化であった。

景気ウォッチャー調査(2017年1月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

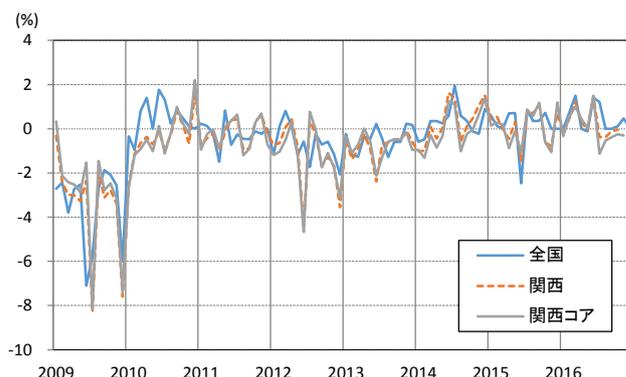
10月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は26万3,248円で前年同月比-0.1%となり、4カ月連続の下落。府県別では、滋賀県が同+1.1%(9カ月連続)、奈良県が同+1.0%(3カ月ぶり)、和歌山県が同+0.8%(2カ月連続)、兵庫県が同+0.4%(4カ月ぶり)の上昇。一方、大阪府が同-1.0%(4カ月連続)、京都府が同-0.5%(2カ月ぶり)の下落となった。また、11月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同-0.3%と5カ月連続で下落した。賃金は緩やかな下落が続いている。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、12月は前年同月比で+0.5%と3カ月連続の上昇であった。内訳をみると、所定内給与は同+0.4%と6カ月連続の上昇。所定外給与は同-1.1%と7カ月連続の低下。特別給与は同+0.8%と2カ月連続の上昇。

また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+0.1%と小幅上昇した。

なお、2016年通年では名目賃金は前年比+0.5%と3年連続の上昇、実質賃金は同+0.7%と5年ぶりの上昇。

現金給与総額(前年同月比: %、2016年12月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011年平均)で加重平均。

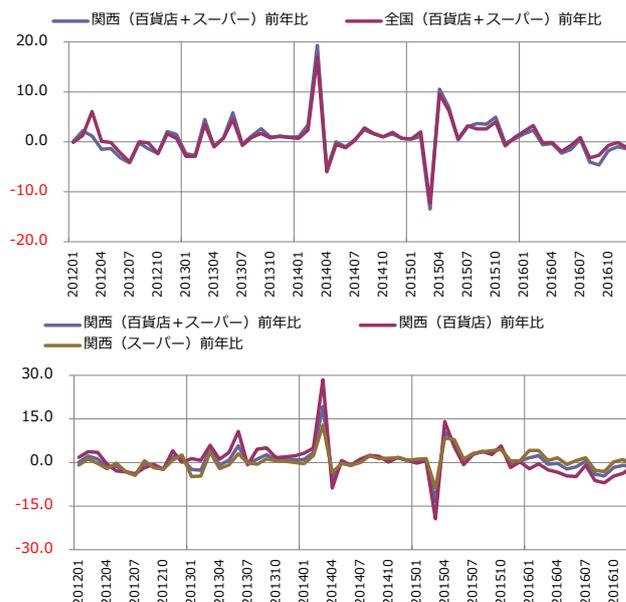
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(2) 大型小売店販売額

関西12月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-1.4%と5カ月連続のマイナス。百貨店は同-1.3%減少し、12カ月連続のマイナス。スーパーは同-1.5%と3カ月ぶりのマイナス。クリスマス需要は堅調であったとの声が聞かれた一方で、衣料品等の季節商品の不振が顕著であったため、伸びはマイナスとなった。

全国12月の大型小売店販売額(全店ベース)は前年同月比-1.2%と5カ月連続の減少であった。

大型小売店販売額(前年同月比: %、2016年12月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動向統計」

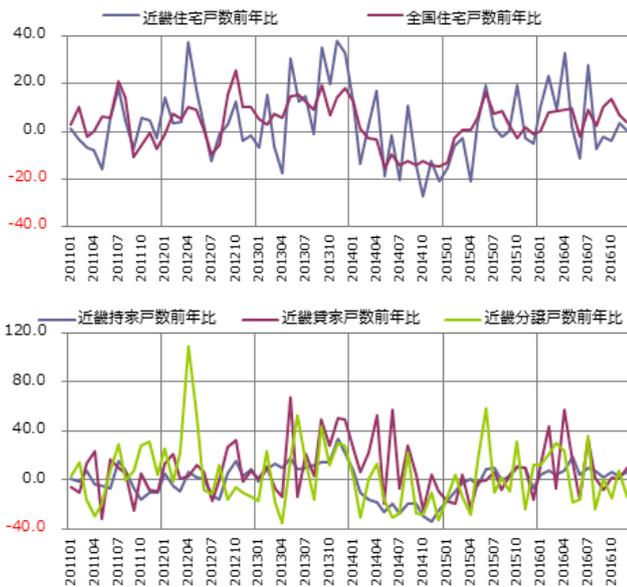
(3) 新設住宅着工の動向

関西 12 月の新設住宅着工戸数は 11,079 戸と前年同月比 +0.5% となり、2 カ月連続の増加。全国は 78,406 戸と同 +3.9% 増加し、6 カ月連続のプラスとなった。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は 3,074 戸で前年同月比 +6.4% と 12 カ月連続のプラス。貸家は 4,540 戸で同 +9.6% と 3 カ月連続の増加。一方、分譲は 3,376 戸と同 -14.1% となり、2 カ月ぶりの減少となった。

1 月の関西マンション契約率は 81.2% (季節調整値、APIR 推計)。好不調の目安となる 70% を 4 カ月連続で上回った。一方、首都圏は 63.7% (季節調整値、APIR 推計) と、前月から大幅に下落した。

新設住宅着工戸数(前年同月比: %、2016 年 12 月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

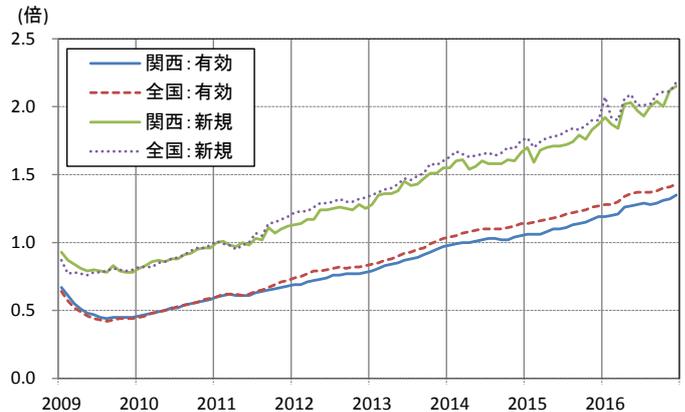
12 月の関西の有効求人倍率は、1.35 倍で前月比 +0.03 ポイントと、4 カ月連続の小幅上昇。依然として高水準が続いている。2016 年通年では、1.27 倍と前年比 +0.16 ポイント上昇した。また、12 月の全国は 1.43 倍で同 +0.02 ポイ

ントと、こちらも 4 カ月連続の小幅上昇となっており、雇用情勢は好調が続く。

有効求人倍率を府県別にみると、関西では全ての府県で改善がみられた。内訳をみると、大阪府・滋賀県で前月比 +0.04 ポイント、和歌山県で同 +0.03 ポイント、奈良県で同 +0.02 ポイント、京都府・兵庫県で同 +0.01 ポイント上昇した。

12 月の関西の新規求人倍率は、2.15 倍で前月比 +0.03 ポイントと 2 カ月連続の上昇。5 カ月連続で 2 倍超となっており、企業の求人意欲は旺盛である。また、2016 年通年では、1.97 倍と前年比 +0.24 ポイント上昇した。全国は 2.14 倍と同 +0.10 ポイント上昇した。

求人倍率の推移 (季節調整値、2016 年 12 月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西 2 府 4 県有効求人倍率(2016 年 11-12 月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
12月	1.43	1.35	1.26	1.37	1.48	1.19	1.26	1.17
11月	1.41	1.32	1.22	1.36	1.44	1.18	1.24	1.14

(2) 完全失業率の推移

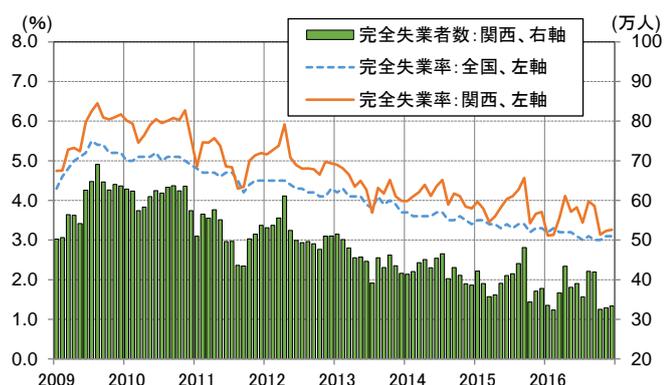
12 月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は 3.3% で前月比 +0.1% ポイント小幅上昇し、2 カ月連続で悪化したものの、依然低水準である。内訳をみると、労働力人口と就業者数がともに増加しており、雇用環境は堅調が続いている。2016 年通年では 3.5% と前年比 -0.4% ポイント低下しており、労働需給は引き締まった状態にある。

関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は 33.4 万人で前月から +0.5 万人小幅増加。2 カ月連続で悪化した。

全国の完全失業率(季節調整値)は 3.1%となり、前月比横ばいであった。2016 年通年では 3.1%と前年比-0.3%ポイント低下した。

また、全国の完全失業者数(季節調整値)は 209 万人で前月から+4 万人増加。理由別にみると、新たに求職が 6 万人減少する一方で、非自発的な離職と自発的な離職(自己都合)がそれぞれ 5 万人増加した。

完全失業率の推移 (季節調整値：2016 年 12 月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

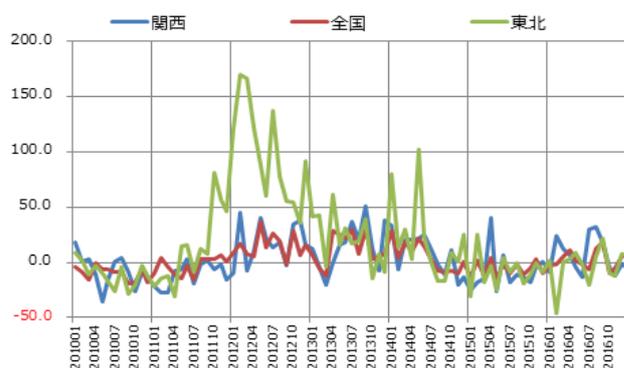
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西 1 月の公共工事請負金額は 608.5 億円で前年同月比-5.4%と 4 カ月連続の減少。全国は 6,997 億円で同+7.1%と 2 カ月連続の増加。東北は 1,369 億円で同+6.8%と 2 カ月連続のプラス。

季節調整値(APIR 推計)を見ると、関西は前月比 2 カ月ぶりのマイナス、全国は 3 カ月連続のプラス(関西:同-15.5%、全国:同+3.2%)となった。関西公共工事請負金額は前年比、前月比ともにマイナスとなっている。補正予算の効果はこれからである。

公共工事請負金額(前年同月比: %、2017 年 1 月まで)



(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

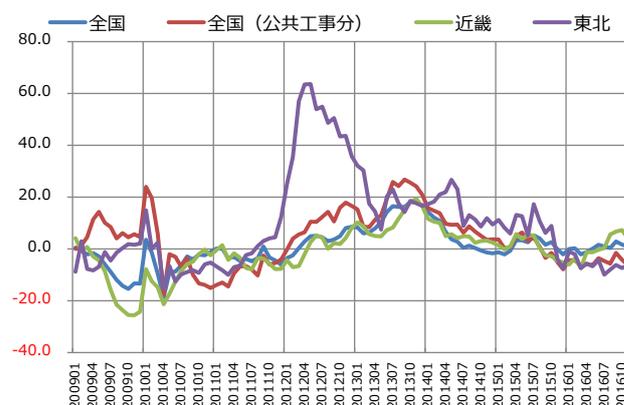
関西 12 月の建設工事は 5,876 億円、前年同月比+1.7%と 6 カ月連続の増加。なお、10-12 月期は前年同期比+4.3%と 2 期連続のプラスであった。

東北は 5,711 億円、前年同月比-8.7%と 14 カ月連続の減少。10-12 月期は前年同期比-7.5%と 5 期連続のマイナス。

全国は 4 兆 7,768 億円となり、前年同月比+0.9%と 8 カ月連続の増加。うち、全国の公共工事は 2 兆 219 億円で同-6.4%と 16 カ月連続のマイナス。なお、10-12 月期の公共工事は前年同期比-5.6%と 5 期連続のマイナス。公共工事は依然マイナスが続いている。

このところ近畿の建設工事は全国に比して堅調である。

建設工事(前年同月比: %、2016 年 12 月まで)



(出所) 国土交通省「建設総統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

1月の関空への訪日外客数は58万5,280人(単月過去最高)となり、前年同月比+21.4%と48カ月連続のプラスとなり、伸びは前月(+12.1%)から加速した。なお、外国人旅客総合数(出入国合計)は112万4,720人と前年同月比+18.4%増加。

一方、出国日本人数は24万70人で、同-1.6%と8カ月ぶりに減少した。

訪日外客数と出国日本人数(人, 2017年1月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

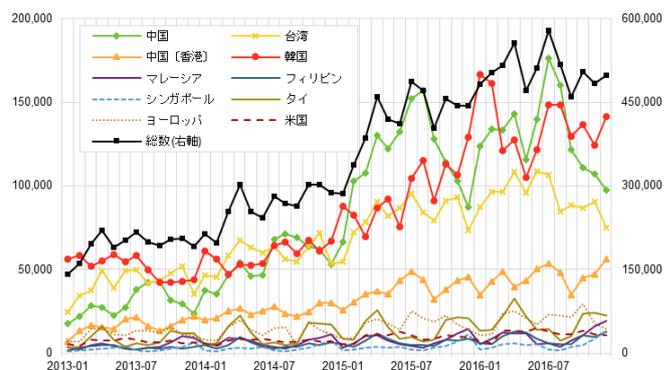
(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、12月は韓国からの入国者数が14万1,540人と3カ月連続で最も多く、前年同月比+9.5%と30カ月連続のプラスとなった。次いで、中国(香港除く)が9万7,564人(同+11.9%)と2カ月連続のプラス。台湾が7万5,093人(同+2.0%)と、3カ月ぶりのプラス。また、中国(香港)が5万6,419人(同+23.5%)であった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが2万2,599人(前年同月比+6.4%)、マレーシアが1万9,373人(同+35.3%)、シンガポールが1万3,707人(同+21.7%)、フィリピンが1万2,769人(同+44.6%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパが1万4,661人(前年同月比+6.1%)、米国が1万676人(同+17.4%)であった。

地域別訪日外客数(2016年12月:人、右軸:総数、左軸:各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

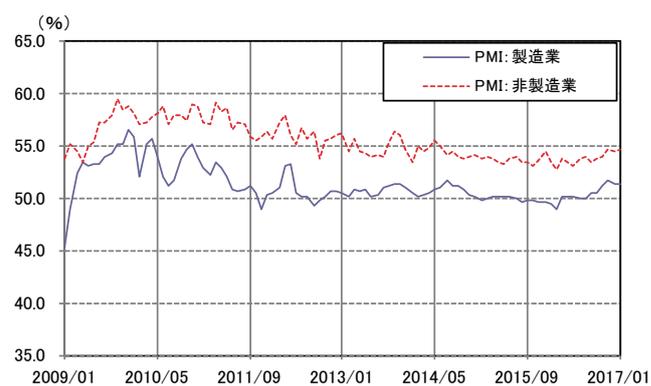
【中国景気モニター】

(1) センチメント

1月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は51.3となり、伸びは前月から-0.1ポイント低下し、2カ月連続のマイナス。一方、非製造業購買担当者景況指数は54.6となり、同+0.1ポイント上昇し、2カ月ぶりのプラスであった。いずれも50を上回った。

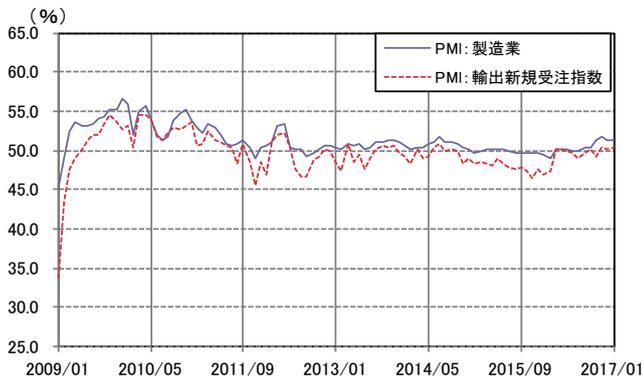
製造業PMIのうち、生産指数は53.1となり、前月比-0.2ポイント低下し、2カ月連続のマイナス。一方、輸出新規受注指数は50.3となり、同+0.2ポイント上昇した。雇用指数は49.2となり、同+0.3ポイント上昇した。

中国非製造業購買担当者景況指数(2017年1月まで)



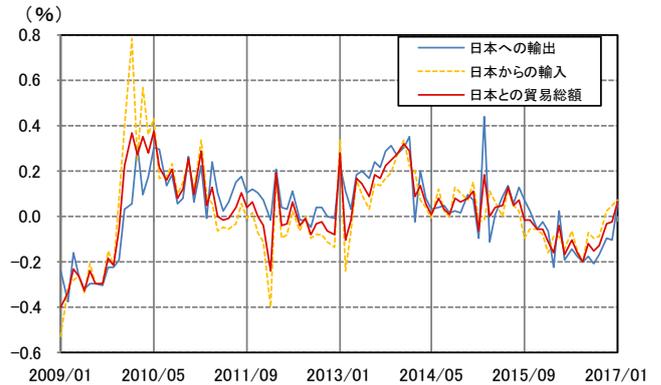
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

中国製造業購買担当者景況指数(2017年1月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

日本との貿易 (前年同月比: 円ベース) (2017年1月まで)



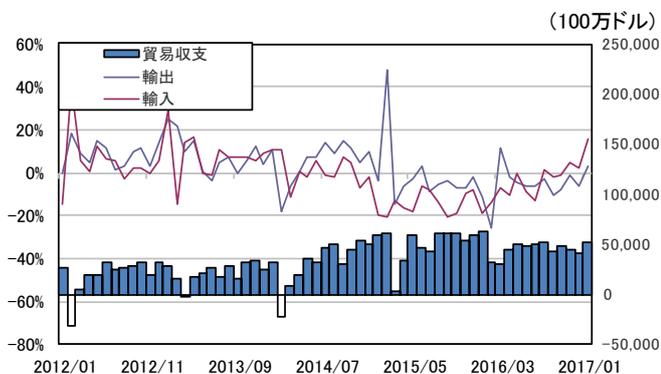
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(2) 貿易動向

1月の貿易収支は+513.5億ドルで、35カ月連続の黒字となった。しかし、貿易収支は前年同月より119.4億ドル悪化しており、6カ月連続の縮小。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,827.6億ドルとなり、同+3.1%増加し、10カ月ぶりのプラス。輸入額は1,314.1億ドルとなり、同+15.4%増加し、3カ月連続のプラスとなった。

また、対日貿易収支は21.3億ドルとなり、1年ぶりの黒字となった。うち、対日輸出額は122.6億ドルとなり、前年同月比+9.2%と2カ月ぶりのプラス。対日輸入額は101.3億ドルとなり、同+10.2%と6カ月連続のプラス。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同+5.9%と、10カ月ぶりのプラス。また、対日輸入額は同+6.9%と、3カ月連続のプラスとなった。

中国の貿易動向 (前年同月比: ドル・ベース) (2017年1月まで)

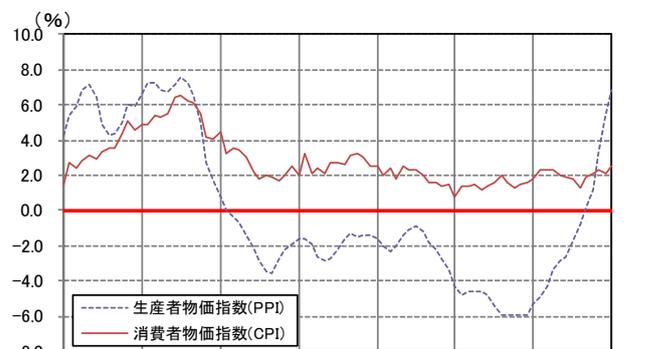


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 物価水準

1月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+2.5%上昇し、伸びは前月から+0.4%ポイント加速した。また、生産者物価指数(PPI)は同+6.9%となり、5カ月連続のプラス。伸びは前月から+1.4%ポイント加速した。

消費者物価指数と生産者物価指数(2017年1月まで: %)



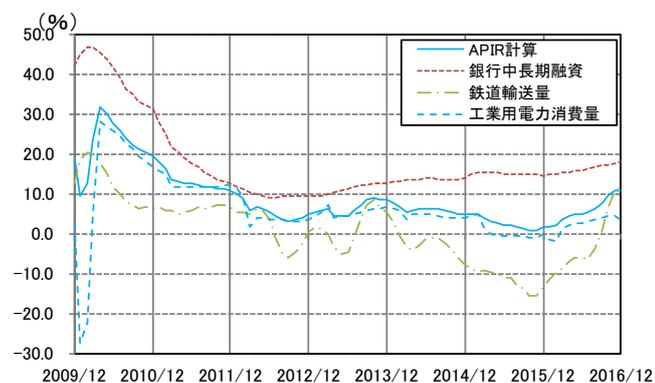
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) リコノミクス指数

12月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+10.7%と、前月と同水準を維持した。内訳をみると、銀行中長期融資は同+18.1%となり、伸びは前月から+0.4%ポイントと12カ月連続で加速した。工業用電力消費量は同+3.6%増加し、12カ月連続のプラス。伸びは前月から-1.0%ポイント減速した。一方、鉄道輸送量は同+11.6%、伸びは前月から+0.9%ポイントと5カ月連続で加速した。

2016年のリコノミクス指数は、15年10-12月期の平均1.1%から、16年10-12月期は10.2%と上昇が続いている。その背景に、銀行中長期融資がこの数年安定的な成長を維持していることがあげられる。また、工業用電力消費量が16年1月から10ヶ月ぶりにプラスに転じたことも理由の一つと考えられる。加えて、16年後半からの鉄道輸送量の急成長も大きく貢献したと考えられる。具体的に、7月から鉄道貨物輸送量の大半を占めている石炭、鉱石などの工業生産原料価格が上昇すると共に、工業生産原料の輸送量も大幅に増加した。その結果、9月の鉄道輸送量は32ヶ月ぶりのプラス成長となっている。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016年12月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh
Nguyet

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	16/1M	16/2M	16/3M	16/4M	16/5M	16/6M	16/7M	16/8M	16/9M	16/10M	16/11M	16/12M	17/1M
景況概況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	48.3	45.4	40.3	41.1	42.1	40.0	46.0	45.6	44.7	47.3	52.1	54.4	50.9
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	47.2	47.0	46.1	46.2	46.7	41.1	47.0	48.4	49.4	48.7	51.0	50.0	49.8
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	47.6	44.1	42.0	40.6	41.7	41.2	43.8	46.0	46.3	48.4	51.4	51.4	49.8
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	49.1	46.4	45.7	43.7	45.4	40.5	46.9	48.6	49.4	50.3	51.3	50.9	49.4
消費者心理・小売													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.6	39.4	41.0	40.6	40.8	42.4	41.4	41.9	42.6	41.3	39.7	41.3	42.2
[関西]"暮らし向き"(原数値)	40.4	38.1	39.1	39.7	40.0	41.0	40.5	41.1	41.9	40.3	38.0	39.5	41.4
[関西]"収入の増え方"(原数値)	40.4	39.3	40.2	40.6	40.2	41.6	39.8	40.8	41.7	39.9	39.6	39.2	40.5
[関西]"雇用環境"(原数値)	44.6	40.6	43.1	42.2	42.8	44.4	43.4	43.8	44.6	43.2	41.1	44.4	44.7
[関西]"耐久消費財の買い時判断"(原数値)	41.1	39.5	41.6	39.9	40.1	42.6	41.7	41.9	42.1	41.7	39.9	42.1	42.3
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	42.3	40.1	41.7	40.8	40.9	41.8	41.3	42.0	43.0	42.3	40.9	43.1	43.2
[関西]大型小売店販売額(10億円)	332.9	290.0	318.1	303.1	310.6	303.9	339.6	302.8	284.2	311.0	323.8	406.5	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	1.6	2.3	-0.6	-0.3	-2.3	-1.5	0.5	-4.0	-4.6	-1.7	-1.0	-1.4	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,691.3	1,488.6	1,646.0	1,545.8	1,597.9	1,567.5	1,721.0	1,554.0	1,470.5	1,596.6	1,647.9	2,067.6	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	2.1	3.2	-0.2	-0.1	-1.9	-0.7	0.9	-3.2	-2.7	-0.7	-0.1	-1.2	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	10,581	11,081	11,846	13,050	10,682	12,681	13,028	11,580	11,435	12,346	12,257	11,079	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	10.2	23.1	9.4	32.9	2.6	-11.5	27.6	-7.3	-2.2	-4.1	3.2	0.5	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	67,815	72,831	75,744	82,398	78,728	85,953	85,208	82,242	85,622	87,707	85,051	78,406	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8	-2.5	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	73.4	76.8	76.6	69.3	61.8	70.4	70.8	73.8	69.1	70.9	73.7	72.7	81.2
[関西]マンション契約率(原数値)	67.1	72.0	78.6	70.0	64.5	73.3	74.6	73.8	68.1	71.8	75.4	69.2	75.1
[全国]マンション契約率(季節調整値)	60.9	72.9	64.3	66.0	71.1	67.3	60.2	68.9	73.2	64.0	61.3	79.6	63.7
[全国]マンション契約率(原数値)	58.6	72.9	67.6	66.4	70.9	69.6	63.3	66.6	72.0	61.6	62.5	76.6	61.6
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	64.4	80.0	125.9	279.6	122.7	172.9	175.1	136.4	151.7	116.3	75.4	95.8	60.9
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-8.8	24.3	12.0	6.2	-3.8	-13.7	30.1	32.2	18.0	-5.5	-11.7	-1.5	-5.4
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	653.5	696.8	1,339.5	2,030.1	1,145.3	1,527.8	1,361.8	1,247.3	1,471.6	1,127.3	822.0	851.4	699.7
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-2.6	-2.2	5.0	10.6	1.4	-1.8	-6.9	12.7	18.1	-10.0	-5.7	5.3	7.1
[関西]建設工事(総合、10億円)	564.6	562.6	531.5	461.9	461.4	485.4	485.4	535.8	555.7	580.1	584.1	587.6	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	-6.0	-3.7	-7.4	-1.3	-1.3	-0.3	-0.3	5.6	6.7	7.3	4.1	1.7	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,611.1	4,520.7	4,423.7	3,589.2	3,553.4	3,786.3	3,786.3	4,209.0	4,529.1	4,719.8	4,757.2	4,776.8	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	0.0	0.2	-2.1	-1.2	0.1	1.6	1.6	0.3	2.9	1.7	1.0	0.9	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2,093.9	2,032.8	2,003.3	1,362.5	1,296.9	1,402.7	1,402.7	1,620.1	1,837.8	1,980.6	1,999.2	2,021.9	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	-4.3	-4.4	-6.4	-5.8	-6.3	-3.6	-3.6	-5.7	-1.5	-4.2	-6.3	-6.4	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	104.1	98.9	105.0	104.1	103.3	101.8	100.9	102.0	107.2	104.5	106.1	108.8	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	4.9	-5.0	7.5	-0.9	-0.8	-1.5	-0.9	1.1	5.3	-2.5	1.5	2.7	UN
[関西]"出荷指数(原数値、前年同月比%)	-7.8	-2.1	-0.3	-1.3	3.2	-1.1	-3.3	2.9	3.7	0.7	9.3	6.2	UN
[関西]"在庫指数(原数値、前年同月比%)	1.4	1.1	1.8	2.6	3.9	3.5	1.4	2.1	3.2	-0.8	-6.1	-4.0	UN
[関西]"出荷指数(季節調整値、10年=100)	100.7	95.8	101.5	101.8	101.2	99.7	100.7	99.9	104.0	103.5	106.4	106.0	UN
[関西]"出荷指数(季節調整値、前月比)	2.5	-4.9	5.9	0.3	-0.6	-1.5	1.0	-0.8	4.3	-0.5	2.8	-0.3	UN
[関西]"在庫指数(季節調整値、10年=100)	117.9	118.6	119.2	120.2	121.7	121.7	119.7	120.8	121.8	116.8	111.1	113.1	UN
[関西]"在庫指数(季節調整値、前月比)	0.0	0.6	0.5	0.8	1.2	-0.2	-1.6	0.9	1.0	-4.1	-4.9	1.8	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	98.3	93.2	96.7	97.2	94.7	96.9	96.5	97.8	98.4	98.4	99.9	100.6	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	2.5	-5.2	3.8	0.5	-2.6	2.3	-0.4	1.3	0.6	0.0	1.5	0.7	UN
[全国]"出荷指数(原数値、前年同月比%)	-5.4	-1.6	-0.7	-3.4	-1.0	-1.7	-4.0	1.6	0.7	-2.0	5.1	2.3	UN
[全国]"在庫指数(原数値、前年同月比%)	0.2	-0.9	1.8	0.1	0.8	0.0	-1.8	-1.6	-2.0	-3.0	-4.8	-4.6	UN
[全国]"出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.8	92.8	94.5	96.0	93.5	95.1	95.8	94.7	96.4	98.3	99.3	98.9	UN
[全国]"出荷指数(季節調整値、前月比)	2.0	-4.1	1.8	1.6	-2.6	1.7	0.7	-1.1	1.8	2.0	1.0	-0.4	UN
[全国]"在庫指数(季節調整値、10年=100)	112.4	112.2	115.4	113.4	113.9	113.9	111.2	111.5	110.9	108.6	106.9	107.5	UN
[全国]"在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.3	-0.2	2.9	-1.7	0.4	0.0	-2.4	0.3	-0.5	-2.1	-1.6	0.6	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.2	0.5	1.2	0.3	-0.1	1.5	-0.4	-0.4	-0.1	-0.1	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.3	0.6	1.0	0.4	0.0	1.5	-1.1	-0.5	-0.4	-0.2	-0.3	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.0	0.7	1.5	0.0	-0.1	1.4	1.2	0.0	0.0	0.1	0.5	0.5	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.1	3.1	3.6	4.1	3.7	3.8	3.4	4.0	3.9	3.1	3.2	3.3	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.3	3.3	3.7	4.0	3.6	3.7	3.6	4.1	3.8	3.3	3.0	2.9	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.92	1.87	1.84	2.02	2.03	1.97	1.93	2.00	2.04	2.00	2.12	2.15	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.07	1.92	1.90	2.06	2.09	2.01	2.01	2.02	2.09	2.11	2.11	2.18	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.19	1.20	1.21	1.26	1.27	1.28	1.29	1.28	1.29	1.31	1.32	1.35	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-58.4	139.1	222.4	223.1	93.1	223.6	179.9	100.5	156.6	205.5	77.6	289.2	-192.9
[関西]輸出(10億円)	1,110.0	1,199.9	1,337.1	1,261.0	1,102.9	1,281.8	1,199.4	1,177.4	1,263.3	1,245.6	1,251.0	1,418.5	1,090.0
[関西]輸出(前年同月比%)	-14.9	-3.4	-8.4	-8.8	-12.8	-7.3	-12.7	-9.4	-8.9	-10.9	1.1	6.0	-1.7
[関西]輸入(10億円)	1,168.4	1,060.8	1,114.7	1,037.9	1,009.9	1,058.2	1,019.5	1,076.9	1,106.7	1,040.1	1,173.5	1,129.3	1,284.0
[関西]輸入(前年同月比%)	-15.4	-17.1	-11.4	-18.1	-12.7	-15.3	-25.4	-12.7	-12.1	-19.9	-7.3	-3.7	9.9

注：鉱工業生産 輸送機械工業は船舶・鉄道車両除く。

Release Calendar for January/February/March

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
30-Jan 全国貿易統計 (12月:確速) 商業動態調査 (12月:速報値) 中国製造業 PMI (1月)	31-Jan 全国鉱工業生産指数 (12月:速報値) 新設住宅着工(12月) 求人倍率(12月) 完全失業率(12月)	1-Feb	2-Feb 消費動向調査 (1月)	3-Feb
6-Feb 毎月勤労統計 (12月:速報値)	7-Feb	8-Feb 景気ウォッチャー調査 (1月)	9-Feb 近畿鉱工業生産指数 (12月:速報)	10-Feb 近畿貿易統計 (11月:確報) 近畿貿易統計 (12月:確速)
13-Feb 商業動態調査 (12月:確報値) 中国輸出入 (1月:速報値)	14-Feb マンション契約率 (1月) 全国鉱工業生産指数 (12月:確報値)	15-Feb 公共工事 前払保証額統計 (1月)	16-Feb	17-Feb 建設総合統計 (12月)
20-Feb 全国貿易統計 (1月:速報)	21-Feb 近畿貿易統計 (1月:速報)	22-Feb 毎月勤労統計 (12月:確報値)	23-Feb 近畿鉱工業生産指数 (12月:確報)	24-Feb 全国貿易統計 (1月:確速)
27-Feb	28-Mar 商業動態調査 (1月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (1月:速報値) 新設住宅着工 (1月)	1-Mar	2-Mar	3-Mar 求人倍率 (1月) 完全失業率 (1月)